

3

スタートカリキュラム

スタートカリキュラムを創ろう

各学校がスタートカリキュラムを創る上で大切なことは、小学校入学当初における指導の工夫や指導計画の作成を、全教職員が共通理解し協働して行うことです。その際には、児童の実態を十分把握した上で行うことが大切です。近隣の就学前教育・保育施設や家庭・地域との連携も図りながら、児童の実態に合致したカリキュラムを作成していきましょう。

※巻末資料「スタートカリキュラム導入・実践の手引き」（文部科学省・国立教育政策研究所教育課程研究センター 平成30年3月）各資料を参照

基本的な考え方

スタートカリキュラムを創る際の基本的な考え方は、次の4つがあげられます。

- 一人一人の児童の成長の姿からデザインする
- 児童の発達の特性を踏まえて、時間割や学習活動を工夫する
- 生活科を中心に合科的・関連的な指導の充実を図る
- 安心して自ら学びを広げていけるような学習環境を整える

→資料：[P121 図1 参照](#)

スタートカリキュラムを創る手順

幼児期の遊びを通した学びが、小学校での様々な教科・領域に円滑に接続されるようにするためには、入学当初の学校における全教育活動全体を見てカリキュラムを創っていくことが大切です。カリキュラムを創る際には、次のような手順を進めることが考えられます。

→資料：[P122 図2 参照](#)

1 幼児の発達や学びを理解する

- 幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を行う。
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりにして幼児期の教育を通して育まれた資質・能力について理解し、児童の成長を把握しながらカリキュラムを創ることが重要である。
- スタートカリキュラムを創るにあたっては、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を通して、実際の幼児の姿について共通理解し、入学した児童が安心して学校生活を送るとともに、自信をもって成長し、自覚的な学びができるようにすることが大切である。
- 幼児の発達・学びの様子・指導の在り方を把握したい。⇒園への訪問・教職員との意見交換や打ち合わせ・幼稚園幼児指導要録等の活用など

→資料：[P123 図3 参照](#)

2 期待する児童の姿を共有する

(1) 期待する児童の姿

- スタートカリキュラムを通して一人一人が確かに成長することを目指し、各学校で期待する児童の姿を明らかにすることが必要である。
- 全教職員で検討し共通理解図る。（全学年での協力体制へ）
- 保護者にもカリキュラムの意義など伝え、安心感や信頼感をもたせたい。近隣園にも伝える。

→資料：[P123 図4 参照](#)

(2) 実施期間の検討

実施期間については、例えば、入学直後の学校生活の充実を図ることを意図したり、5月の連休を視野に入れたりするなど、2週間単位や1～2か月単位で設定することが考えられます。また、1年間を通じて児童の様子を加味し、夏季休業明けに改めて設定するなど、柔軟に実施期間を設定する必要もあります。

3 各学校のスタートカリキュラムを創る

(1)単元の構成

〈キーワード〉「体験活動・友達との関わり・児童の意識の流れ」を大切に

◎単元の配列：生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫が重要

①合科的・関連的な指導の工夫

- 合科的な指導 生活科を中心とした単元の学習活動において、複数の教科の目標や内容を組み合わせて学習活動を展開する。
- 関連的な指導 生活科の学習成果を他教科等の学習に生かす。
他教科等の学習成果を生活科の学習に生かす。

→資料：P124 図5 参照

②単元配列表の作成

合科的・関連的な指導の工夫をするときには、学習指導要領で各教科等の目標や内容を確認し、生活科と各教科等との単元の関連を明示した単元配列表を作成したい。

単元配列表を作成し、各教科の内容の関連を想定しておく、たとえば学校探検で「図書室の本を読んでみたいな」「僕の好きな昆虫の本はあるかな」など、授業の中で児童から発せられる言葉を受け止め、次の活動につなぎながら学びを展開していくことが可能となる。単元配列表を基に、合科的・関連的な指導の工夫により、児童の意欲の高まりや主体性の発揮が期待できる。




第1学年 単元配列表 (例)

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	
国語	あいうえおであそぼう					
	いちねんせい	よろしくね	はるのあさ	みつけたよ	ことばのひみつ	あめのひ
算数	なかまづくりとかず	くらべよう	10までのかず	なんぼんめ	いくついくつ	
	がっこうだいすき みんななかよし					おおきくなあれ
生活						
音楽	みんなであうたおう		おんがくにあわせて			
図画工作	すきなものいろいろ	じぶんマーク	こんなことあったよ	ねんどであそぼう	すなやつちとあそぼう	
体育	からだほぐし		ゆうぐあそび	おにあそび		
道徳	げんきにあいさつ		みんなであうたおう	ともだちとなかよく	いきものとなかよし	
特別活動	入学式					
	よろしくね	1年生を迎える会 たのしいきゆうしよく		おしごとたのしいな		

「スタートカリキュラム導入・実践の手引き」より

(2) 週の計画と時間配分

週案の作成

スタートカリキュラムを構成する活動の種類	
	一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした活動（安心をつくる時間）
	合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動
	教科等を中心とした学習活動

※本区の例もこの類型を基に作成しています

週案(例)を作成する際に意識したポイント

スタートカリキュラムとして大切にすること	
ポイント 1	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動などを位置付け、楽しい気持ちで1日がスタートするように1週間の時間割を計画する ○児童が安心して学校生活を楽しむことができるように、一定の期間は同じ学習内容を繰り返す連続性と、少しずつ内容が高まっていく発展性を意識する
ポイント 2	<ul style="list-style-type: none"> ○児童の思いや願いの実現に向けた主体的な学習がつながっていくように、1週間の時間割を計画する ○生活科を中心に、つながりのある他教科等のねらいを考えながら合科的・関連的な指導を行う ○思いや願いの実現に向けた主体的な学習活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように、2時間続きなどの学習活動を位置付ける
ポイント 3	<ul style="list-style-type: none"> ○入学当初の児童の学習に対する期待感を生かし自覚的な学びにつながるために、教科等の学びの時間を1週間の時間割に位置付ける ○児童の学習意欲が続いていくように、他教科等の指導の際に生活科との関連を意識する ○入学当初の児童の発達の特徴性に配慮し、10分から15分程度の短い時間を利用して時間割を構成したり、具体的な活動の伴う学習活動を位置付けたりする
ポイント 4	<ul style="list-style-type: none"> ○入学当初の児童の発達の特徴性に配慮し、午後の時間は具体的な活動の伴う学習活動を位置付ける ○1日の終わりには、明日への期待感を高める活動を設定する

「スタートカリキュラム導入・実践の手引き」より

第6日	
日	4/〇(月)
朝	朝の準備・自由遊び
	先生の話・健康観察 歌・手遊び リズム遊び 読み聞かせ など
	先生の話 歌・手 リズム; 読み聞
ポイント 1	「がっこうだいすき みんななかよし」
2	・自己紹介をしよう (国「よろしくね」2/3) ・学校のはてなや
ポイント 2	びっくりを見付けよ (生1と1/3)
生活科を中心とした学習活動	「はる こん ・春と (生2)
ポイント 3	「あいうえおであそ ぼう」・ひらがな (国2/3)
教科等を中心とした学習活動	「なかよしだいさくせん」 ・みんなでおいしく 給食を食べよう
屋	
5	「くらべよう」 ・数を比べよう (算2/3)
ポイント 4	「みんなであうたおう」 ・知っている春の歌 を歌おう (歌2)
	「はる こん ・春の ろう (園工 し)1)

※朝から、1時間目の内容は、台東区の例

◆弾力的な時間割の設定を週案の中に位置付ける

10～15分(1/3h)、20～25分(1/2h)、60分、90分

スタートカリキュラムを実施する期間の週案に位置付ける。

◆楽しい気持ちで1日が始められるようにする。

◆幼児期に近い生活をつくるようにする
(具体的な指導の工夫例 P91～98 参照)

特に入学当初はゆったりと。朝から、生活・学習規律を身に付けさせようと厳しくなってはいませんか？

◆カリキュラムマネジメントの視点をもって週案作成する。

見直し・修正を加えながら改善していきます。

週案作成のポイント

《意義》

【安心】 スタートカリキュラムに幼児教育の考え方を取り入れることで⇒
子供に安心感が生まれます。(→小1PTプログラム予防)

【成長】 スタートカリキュラムで幼児期の経験を小学校の学習につなぐ ⇒
と、子供が自信や意欲をもち、成長していきます。
(→学びに向かう力・力の発揮)

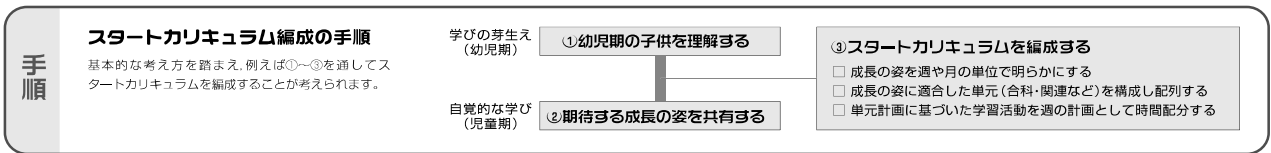
【自立】 スタートカリキュラムを入り口として6年間を見通すことが、 ⇒
子供の自立につながります。(自ら考え、判断し行動→6年間を見通した小学校教育全体の改善へ)

《策》

・幼児期に親しんだ活動を取り入れる。
・分かりやすく学びやすい環境づくり。
・先生や友達と関わる活動をする。

・幼児期からの学びと育ち(遊びを通した経験：試す・工夫する・協力・伝え合い・話し合い)を生かす環境や活動を意図的に設定する。

・子供が幼児期に経験してきた3つの自立(学び・生活・精神的な自立)を基盤としながら、生活科を中心としたスタートカリキュラムを学校全体で検討・編成する。



例えば、以下の視点で学習を3類型に分類し、重点の置き方を考えて単元や学習活動を配列します。

一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築いていくことをねらいとした学習

合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習

教科等を中心とした学習

入学から夏休みまでのカリキュラム

時期	4月第1週～第2週	4月第3週～4月末頃まで	5月頃	6月頃	7月頃
ねらい	・心をほくす ・学校に対する安心感 ・先生や友達と仲良く	・自分にできることは自分で ・新しい集団のルールを考える		・関わりを広げる ・自己発揮・主体性の発揮	
学習の時間配分	3類型に分類した				

長期的な視点で配列した単元や学習活動を、週案の形で具体化します。

4月第2週のカリキュラム

今週のねらい【先生や友達と仲良くなる】

	4 / 13 (月)	4 / 14 (火)	4 / 15 (水)
朝の会	「なかよくなるろう」*	「なかよくなるろう」*	「なかよくなるろう」* ・手遊び ・お話聞いて ・お話読んで ・歌って踊ろう
1	・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	・手遊び ・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	「がっこうだいすきななかよしいっぱい」 国・図・生 ・学校探検に行こう
2	「がっこうだいすきななかよしいっぱい」 国・図・生 ・学校探検に行こう	「がっこうだいすきななかよしいっぱい」 国・図・生 ・学校探検に行こう	・見付けたものや人をお知らせしよう
3	・学校のはてなやびつくりを見付けよう	・学校のはてなやびつくりを見付けよう	「おはなしよんで」(国) 「いくつかな」(算)

週へのねらいの設定
身近な友達や先生との関わりから集団づくりへ、教室から学校全体へ、主体的に学び自分らしさを発揮できる活動へと、徐々にステップアップしていくねらいを定めることが考えられます。

子供の生活リズムに合わせた時間の設定
朝の会から1時間目に掛けて、幼児期に親しんできた遊びや活動を取り入れ、友達と仲良く交流する活動を行ったりすることで、生き生きと楽しい気持ちで1日の学校生活を始めることができます。

学習活動の配列や時間配分の工夫
1日の流れを意識して学習活動を配列したり、子供の実態や学習活動に応じてモジュール学習や2時間続きの学習にしたりして、時間配分を工夫することが考えられます。

※この時間については、授業時数以外の教育活動として位置付けたり、各教科等で実施したりすることが考えられます。(各教科で実施する場合には、学習活動がその教科等の目標や内容を実現するものである必要があります)

(文部科学省「スタートカリキュラムスタートブック」より)

【スタートカリキュラム（週ごとの指導計画）に取り入れたい視点】

学習を3つの類型に分類し、単元や学習活動を配列する。（前ページ図参照）

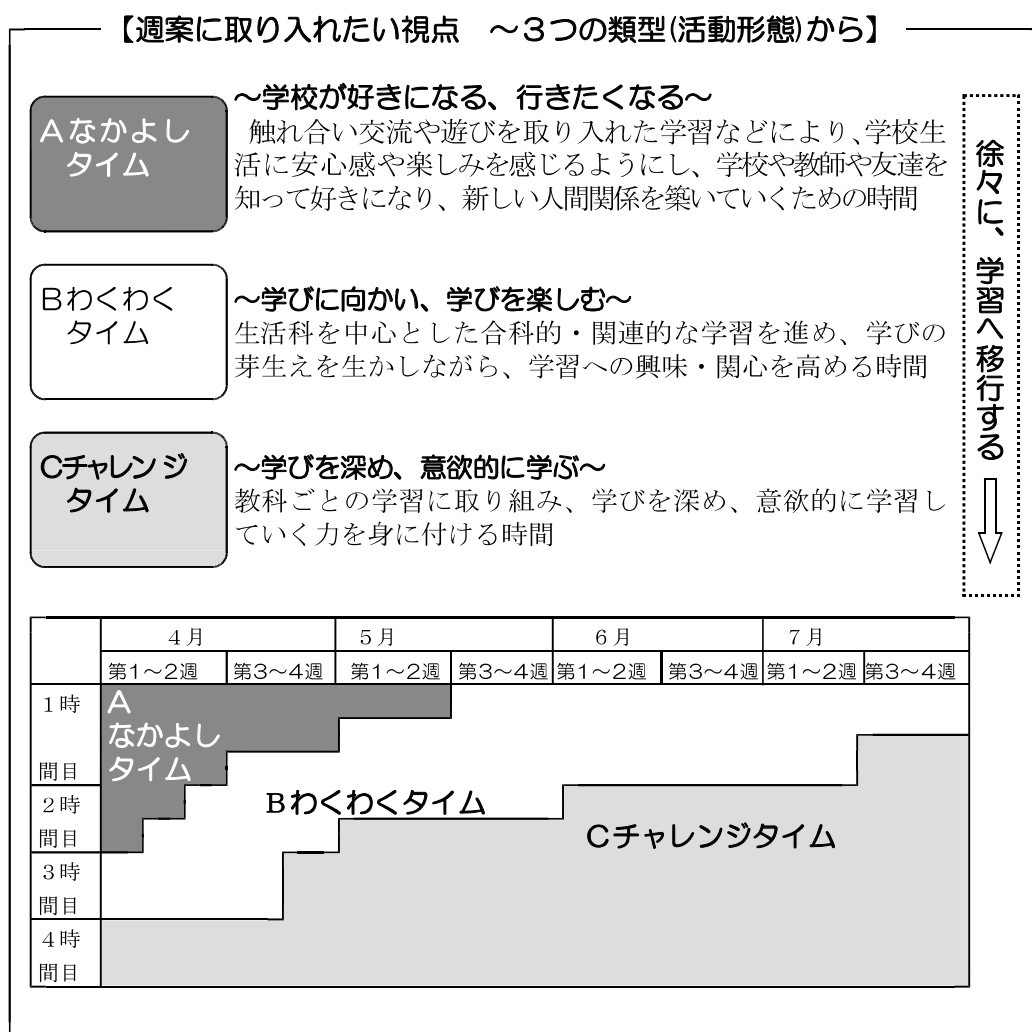
○ **A【なかよしタイム】**「安心感がもて新しい人間関係ができるような活動」

B【わくわくタイム】「合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習活動」
※生活科以外の教科等についても、「合科的・関連的な学習」を【B】として計画する。

C【チャレンジタイム】「教科を中心とした学習」（以下、A、B、Cと略して表示する）

○入門期の4月から7月に向かうにつれ、AからB、BからCへと学習活動の時間がCに向かって徐々に増えるようにしていく。（前ページ図参照）

◆前頁の例を参考にすると、下記のようなスタートカリキュラムのイメージ図になる。



- ・入学当初、特に1日のはじめは「なかよしタイム」から入り、安心感や楽しさを感じさせたい。
- ・上記の図は、入学・入門期に「安心・楽しさ」から「興味・意欲」へ、さらに「教科中心の学習」へと長期的な観点で作成したイメージ図である。
- ・従って1日の流れを、A→B→Cとしているが、児童の実態や学習の内容等により、A、B、Cの順序や時間配分は柔軟に変更して、自校の実態に合わせて工夫していきたい。

【スタートカリキュラムについて】(P71~86参照)

○4月を4時間授業とした。(4月後半、家庭訪問のあるプラン)：1学年は年間34週(他学年は35週)
 ※各教科の年間時数を考慮に入れ、5月末の時数累計に無理のない範囲で計画を立てた。

○3つの類型A「なかよしタイム」、B「わくわくタイム」、C「チャレンジタイム」の、何に該当するのかわ、を、「な」、「わ」、「ち」と略して明示した。

(例)

な	
・先生の話・健康観察(学活 1/3)	
・歌・手遊び・ゲーム(な 1/3)	
・読み聞かせ	(国語 1/3)

○左枠内の「な」は、「なかよしタイム」を表す。
 ○入学当初の「先生の話・健康観察」は、特別活動(学級活動)のねらいに合致するので、学級活動の時間として計上した。(生活科とする場合もある。また、実際の内容が学級活動としてのねらいに合致していない場合は、時数に入れず「なかよしタイム」としての累計にすることも可能。)

○その他

・給食指導

4月中は、4校時後半の時間を特別活動とし、1学年にとって初めての活動である給食の時間を多く確保し、初歩から丁寧に指導していく。(特別活動の授業として行うので、チャイムが鳴るまでは自主的な活動ではなく、担任の指導を受ける。)給食の準備や誰が何の当番か、仕事の手順や気を付けることなど、日々変わる献立や当番の具体的な話を毎日繰り返し聞いてから活動に入ることで、習慣化していく。

※詳細はP97~98参照

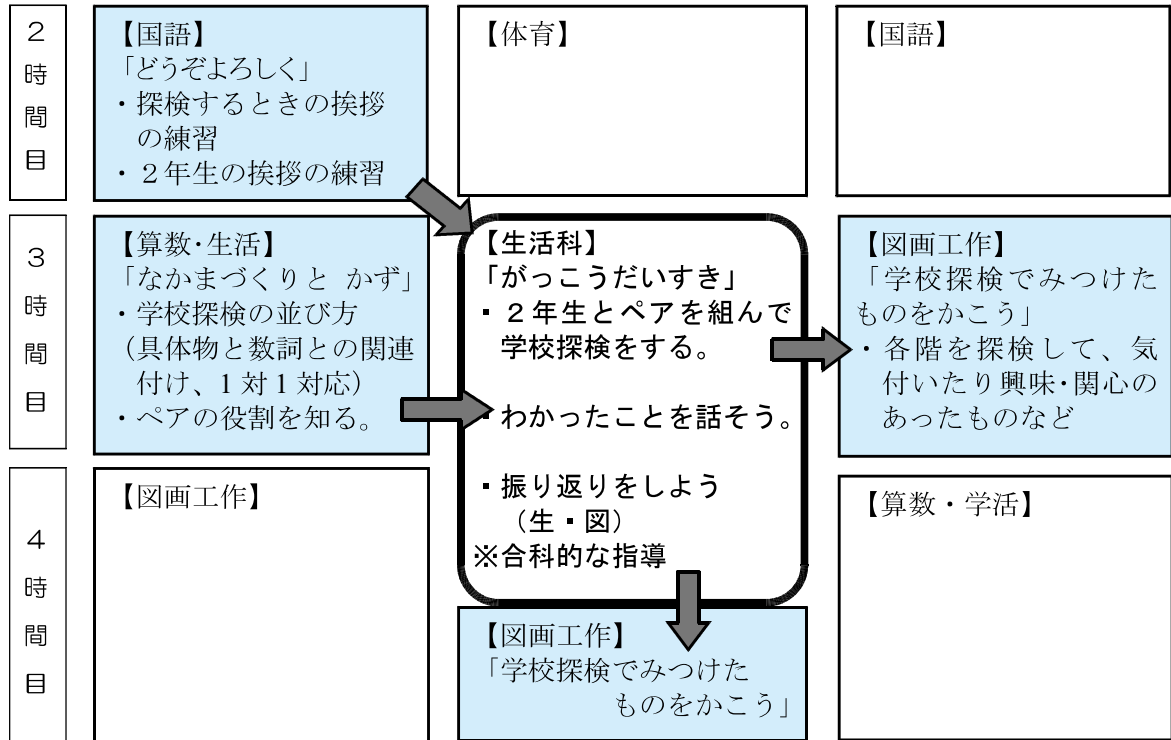
・児童の体調等、実態に合わせた柔軟な指導計画

幼児期の生活リズムとの違いによる疲れや集中力の維持などを考慮し、実態に応じて適宜4・5校時や激しい運動(運動会の練習・水遊びの学習など)後の学習活動を柔軟に構成する。(例)モジュール化した時間配分、合科的・関連的な「なかよしタイム」、「わくわくタイム」を組み込む。

ん午一園
だ睡時によ
よの時から
時間だつて
は、三時ま
まで

・生活科「学校たんけん」は、合科的・関連的なカリキュラム構成をする。(P73カリキュラム参照)

【生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫(例)】



※スタートカリキュラムの考え方(モジュール等の時間配分の工夫、合科・関連的な時間の工夫など)で、組んだ時間に網掛け。関連的な指導の時間のつながりを → で表した。

○1単位時間で行う、A「なかよしタイム」、B「わくわくタイム」、C「チャレンジタイム」の例

A「なかよしタイム」の例

生活	な「こうてい たんけん」 ・はるをさがそう
体育	「みんなで あそぼう」 ・ならびっこをする ----- ・遊具の使い方を知る ・固定遊具で遊ぶ

2教科3活動(15分×3)

B「わくわくタイム」の例

音楽	わ「みんなであるこう」 ・みんなで楽しく歌ったり歩いたりする
生活	「がっこう たんけん」 ・学校内を探検しながら図書室に入り探検
国語	「おはなしを 楽しもう」 ・図書室で、好きな本を見つけて読む

3教科×3活動(15分×3)

C「チャレンジタイム」の例

算数	チ「なかまづくりとかず」 ・観点や条件を変えてなかまづくりをする ・すうじのかきかた
国語	「ひらがなのれんしゅう」 ・「こ」のひらがなを、形に気を付けて書く

2教科2活動(1/2校時×2)

◎いずれの例も、児童の興味・関心や集中力の維持のために1単位時間を2～3モジュールで計画(ほかに、1教科を2～3モジュールにして行う工夫あり。)

【Aの例】最初は、生活科で、「こうてい たんけん」をしに校庭へ行き、春の花や芽、昆虫などを観る活動である。

観ているうちに、校庭にある遊具にも自然と目がいき、固定遊具で遊びたくなり、体育の授業へと移る。

遊ぶために(目的意識)必要な、固定施設の使い方や安全の学習もしっかり聞くことで遊び始められる。この授業は、生活科を中心とする関連的な学習の例だが、安全面やルールなどを、受動的に教師から指導されるのではなく、教師の授業展開の工夫により、「教えられる」というより、遊ぶために自分たちから「主体的」に学ぼうとするようになっていく授業展開である。

「先生、あれで遊びたいよ」(意欲)
「じゃ、きまりを聞いてね。」

初めからルールを押し付けて遊ばせるのではなく、学びに向かい学びを楽しめるようにする

○思いを膨らませ、主体的に学び(ルールを聞き)、夢中になって遊ぶ(学び)

【Bの例】P69の下図、【生活科を中心とした・・・工夫(例)】のように、生活科と各教科・領域の学習を関連させたカリキュラム構成が、入門期の児童には適している。

【Cの例】「生活科を中心とした関連的な指導の工夫」ではなく、1単位時間の中で、複数教科等を組み合わせている。この場合、AやBのように、幼児期の遊びや生活を取り入れた学習ではなく、教科の学習にチャレンジしている。しかし、内容の違う(関連していない)2活動を短時間で学習しているので(時間配分の工夫)、児童は飽きることなく、興味・関心や意欲をもって学習活動できる。

◎ B「わくわくタイム」1単位時間の中で行う関連的な指導の例

例1 避難訓練

音楽	「知っているうたをうたおう」 ・並んで歌いながら歩こう
学活	「避難訓練の仕方をしよう」・防災ずきん・避難の仕方・「おかしも」の合図
行事	避難訓練 ・先生の指示をよく聞こう

音楽 1/3 + 学活 1/3 + 行事 1/3
(または、学活 1/2 + 行事 1/2)

例2 給食指導

生活	「がっこう たんけん」 ・教職室探検 ・ランチルーム探検 ・栄養士の話聞く(TT)
学活	「給食の準備をしよう」 ・手洗いの仕方・清潔 ・配膳の仕方

生活 2/3 + 学活 1/3

例3 1年生を迎える会

生活	「がっこう たんけん」 ・たいいくかん たんけん
学活	「1年生を迎える会お練習をしよう」 ・会について知る ・ならびかたを知る

生活 1/3 + 学活 2/3

主なめあて はじめまして がっこう はじめまして ともだち

	1日目 (4/6)	2日目 (4/7)	3日目 (4/8)	4日目 (4/9)	5日目 (4/10)
行事等	入学式		給食はじめ	発育測定	内科検診
朝の時間	○持ち物の整理・授業の準備 ○教室の飼育栽培物観賞・観察 ○自由帳でお絵かき、読書、折り紙など				
1	なかよしタイム				
2	入学式	○先生のお話・健康観察(学活 1/2) × 2 ○読み聞かせ「おはなし たのしいな」(国 1/2) × 2 ※教科のねらいに合致しない活動内容の場合は「なかよしタイム」(な)として計上する。		わ「がっこうせいかつすたあと」 ・いっしょに あそぼう ・いっしょに うたおう	行事 内科検診 算 わ「おおいのはどちらかな」 (幼児期に育った数や量への関心・感覚の想起。教科書の挿絵や教室内の具体物などを活用)
3	わ「がっこうせいかつすたあと」 ○きょうから1ねんせい ○学校はどんなところかな ・自分の席にすわる ・先生の名前を覚えよう ・手遊び・ゲーム ・先生の話聞く	わ「がっこうせいかつすたあと」 ○初めまして仲良くしてね ○きょうしつには何がある ・道具箱の使い方 ・ロッカーの使い方 ・配布物のしまい方	わ「がっこうせいかつすたあと」 ・なまえをおしえてください 生活・国語 チ「えんぴつと なかよし」 ・しよしゃ たいそう ・姿勢 ・鉛筆の持ち方 ・自分の名前を書こう (書写と関連) (生1/3・国2/3)	行事 発育測定 算 わ「くらべたことがあるかな」 (幼児期に育った数や量への関心・感覚の想起。教科書の挿絵や教室内の具体物などを活用)	国 わ「いい てんき」 ・挿絵を見て、話そう。 学活 チ「言葉を用いた代表の児童を決める」
4		わ「がっこうせいかつすたあと」 ○できるかな ・トイレの使い方 ・流しの使い方(手洗いうがい)	チ「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」 ・栄養士から給食のお話 ・手洗い、身支度 ・当番の仕方 ・片付け方、など	国 チ「えんぴつと なかよし」 ・運筆練習(書写と関連) 学活 チ「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」 ・手洗い、身支度 ・当番の仕方、など	音楽 わ「うたって おどってなかよく なるう」 学活 チ「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」 ・手洗い、身支度 ・当番の仕方、など
給食・清掃			○給食 ○帰りの支度・帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○帰りの支度・帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○帰りの支度・帰りの会 ○班ごとに並び集団下校
5					
放課後					

P 101 事例参照

- ◎入学当初の配慮事項
- 入門期のスタートカリキュラムや児童の指導について全教員が共通理解し、TTでの授業など学校体制で行う。
 - 朝の活動を学年合同で行うなど、TTで一貫性のある指導を行う。「なかよしタイム」を繰り返し行うことで安心感や自信をもたせ、学校や先生、友達に慣れる。
 - 学級や学校の施設・設備(今週の生活に必要な場所を中心に)の環境に触れさせたり、関係する先生や友達と関わる時間や場を設定するなど、学校や先生・友達との関係作りをして、楽しく、安全・安心に過ごせるようにする。
 - ・玄関(靴箱・傘立)、階段、教室、トイレ、保健室の場所を見たり、養護教諭や栄養士と対面し話を聞いたりする。
 - ・毎日の授業のスタート時に、「なかよしタイム」を設定する。
 - ・児童の興味関心や意欲、集中できる時間を考慮し、幼児期の遊びや活動を授業に活用して、柔軟な授業時間にする。
 - ・給食が始まる前に、給食に関する指導を行う。(例: 栄養士と担任とのTT体制で1単位時間、給食指導2週目参照)
 - ・週末の最後の授業は、次週も元気に登校できるよう、短時間で「なかよしタイム」を入れたい。
 - ・初めての集団下校の班編成・並び方や下校の仕方を丁寧に指導し、児童に安心感をもたせる。
 - ◆家庭との連携
 - ・児童の学校生活が円滑になり、学習・生活習慣が徐々に身に付いていこう、家庭との連携を十分に取っていく。
 - ・週ごとに「学年(学級)便り」を配布し、児童の様子を伝えたり、毎日の持ち物や下校時刻、お願いする事などを伝える。
 - ・家庭で配慮してほしいことを知らせる。(例: 睡眠時間、食事、排泄等の生活習慣、児童を認め励ます声掛け)

教科	実施	累計
国語	3 1/3	3 1/3
算数	1 1/3	1 1/3
生活	3 2/3	3 2/3
音楽	1	1
図工	0	0
体育	0	0
道徳	0	0
学活	5	5
小計	14 1/3	14 1/3
行事	1 2/3	1 2/3
な	2	2
外国語	0	0
総計	18	18

主なめあて がっこう だいすき ともだち だいすき

	6日目 (4/13)	7日目 (4/14)	8日目 (4/15)	9日目 (4/16)	10日目 (4/17)	11日目 (4/18)
行事等		避難訓練	心臓検診		1年生を迎える会	土曜授業公開 ・セーフティ教室
朝の時間	○持ち物の整理・授業の準備 ○教室の飼育栽培物観賞・観察 ○自由帳でお絵かき、読書、折り紙など					○持ち物の整理・授業の準備
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">P 99 事例参照</div> なかよしタイム					学活 ○先生の話・健康観察 国語 ・えんぴつのもちかた ・てのうごかしかた(書写) ・「1年生を迎える会」の練習(よびかけ)
2	わ 「がっこう だいすき」 ・たのしい がっこう せいかつ (よりよい学校生活・集団生活の充実)	算数 「なかまづくりとかず」 ・たりのかな (個数の多少を1対1対応の方法で比べる。)	行事 心臓検診 わ 「あつまって はなそう」	わーち 「いい てんき」 ・教師に合わせて声に出したり、想像したことを話したりしよう。 国語 ち 「あつまって はなそう」	な 「どうぞ よろしく」 ・1年生を迎える会の練習(自己紹介やよびかけの練習) 音楽 わ ・歌の練習	ち 「セーフティ教室」 ・不審者と遭遇した時の対応の仕方 ・「いかのおすし」を知る ・学校サポーターのお話
3	国語・音楽 な 「どうぞ よろしく」 ・自己紹介の練習 わ 「うたの練習」 ・(1年生を迎える会の練習)(国2/3・音1/3)	体育 な 「からだほぐしの運動」 ・おにごっこ(バナナおに)	国語・図工 わ 「どうぞ よろしく」 ・自分の名前を書く わ ・自分マークや絵をかく。(国1/3・図2/3)	生活 わ 「がっこうせいかつ すたあと」 ・学校を回ってみよう わーち 「おはなし たのしいな」 ・図書室の約束 ・本を選んで読もう ・読み聞かせ	算数 ち 「なかまづくりとかず」 ・おなじ かずの なかまをさがそう。 (数詞と数字を対応させて、1～5のもの数をかぞえる。)	行事 1年生を迎える会
4	音楽 な 「うたって おどって なかよく なるう」 ・リズムにのって たのしもう 学 ち 「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」	国語 わ 「いい てんき」 ・挿し絵をもとに気付いたこと、想像したことなどを話そう。 学 ち 「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」	生活 わ 「がっこうせいかつ すたあと」 ・学校を回ってみよう 学 ち 「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」	国語 わーち 「おはなし たのしいな」 ・図書室の約束 ・本を選んで読もう ・読み聞かせ 学 ち 「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」	生活 わ 「がっこうせいかつ すたあと」 ・つうがくろの あんぜん(次週12日目3・4校時へ)	学 ち 「きゅうしよくのじゅんぴをしよう」
給食・清掃	○給食 ○整理整頓 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○整理整頓 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○整理整頓 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○整理整頓 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○整理整頓 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○整理整頓 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">P 103 事例参照</div>					
放課後の会						

◎入学当初の配慮事項
 ○朝の活動や「なかよしタイム」を繰り返す行うことで、安心感や自信をもたせ、学校や先生・友達に慣れる。
 ○いろいろな場所へ学校探検に行き、学校の施設・設備に触れさせながら、学校生活への円滑な導入を図る。
 ○4校時後半(1/2～1/3)学級活動の時間を設定し、給食時の活動(衛生・ルール・当番の仕方など)を繰り返す行うことで知識・技能・態度を身に付けていく。
 ・栄養士・養護教諭・専科教諭など、TT体制で、給食当番とその他の児童の活動に付き、丁寧・安全に指導する。
 ・初めて行う清掃活動や当番活動でできたこと(できるようになってきたこと)を十分認め励まし、意欲の継続を図る。
 ○様々な検診が始まる。検診の受け方やルール・マナーなど、毎回指導し行動させ認めていくことで自信と安心感をもって受診することができるようにする。

◆家庭との連携
 ○今週の児童の様子を伝えるとともに、習慣化などのためにさらにお願ひしたいことを具体的に伝える。児童の学校生活が円滑になり、学習・生活習慣が徐々に身に付いていくよう、家庭との連携を十分に取っていく。
 ・今週の学年(学級)便りや連絡帳などで、家庭との連絡を密に取っていき、保護者にも安心感をもたせる。
 ・生活科など、スタートカリキュラムを積極的に取り入れた教科等について、その趣旨を保護者会や便りなどを通して保護者へ周知し、家庭との一層の連携・協力を図る。
 ・集団登下校・通学路の個々の児童の安全面を再確認する。

教科	実施	累計
国語	6 2/3	10
算数	1 2/3	3
生活	2 1/3	6
音楽	3	4
図工	2/3	2/3
体育	1	1
道徳	1	1
学活	3 2/3	8 2/3
小計	20	34 1/3
行事	3 4	2/3
な	0	2
外国語	0	0
総計	23	41

主なめあて **がっこう だいすき** **ともだち だいすき**

	12 日目 (4/20)	13 日目 (4/21)	14 日目 (4/22)	15 日目 (4/23)	16 日目 (4/24)
行事等	交通安全教室 家庭訪問	聴力検査 家庭訪問		家庭訪問	家庭訪問
朝の時間	児童朝会	学習タイム	朝読書	児童集会	体育朝会
1	なかよしタイム ○先生の話・健康観察(学活 1/3) ○歌・手遊び・リズム遊び他(な 1/3)	なかよしタイム ○先生の話・健康観察(学活 1/3)	なかよしタイム ○先生の話・健康観察(学活 1/3) × 3 ○歌・手遊び・リズム遊び、読み聞かせ他(な 1/3) × 3		
国語	な 「おはなし たのしいな」 (読み聞かせ)	聴力検査	※教科のねらいに合致しない活動内容の場合は(な)として計上する。		
2	わ「あいさつ」 ・みんなにあいさつ (礼儀)	わ「がっこうせいかつ すたあと」 ・校庭探検をする。 (1年生だけで) (次週、18日目3校時へ)	チ「なんて いおうかな」 チ「えんぴつの もちかた ての うごかしか (書写)」 わ「どうぞ よろしく」 ・探検するときの挨拶の 練習をする。 ・2年生への挨拶の練習す る。	チ「なんて いおうかな」 チ「えんぴつの もちかた ての うごかしか (書写)」 な→チ 「からだほぐしのうんどう」 ・いろいろな走り方 ・おにごっこ	チ「なんて いおうかな」 チ「えんぴつの もちかた ての うごかしか (書写)」 チ「こんな もの みつけたよ」
3	「交通安全教室」 ・警察の方の話 ・私たちの通学路 ・通学路を守って正しく登 下校(10日目4校時より)	わ「がっこうせいかつ すたあと」 ・校庭で発見した物を 話し合う 図工 ・校庭にあった物や遊具 を絵に描く	チ「なかまづくりと かず」 ・おなじ かずの なかまを さがそう。 (1～5の数について、 具体物、半具体物、数 字などを関連付ける。)	わ「がっこう だいすき」 ・2年生とペアを組んで 学校探検をする。 (1年生の役割を 確認して取り組ませる)	わ「学校探検でみつけた ものをかこう」 ・各階を探検して、気付い たり、興味・関心があっ たりしたもの(こと)
4	・道路の右側を歩く練習 ・横断歩道の渡り方を知 り、渡る練習	チ「なんて いおうかな」 ・絵を見て、何をしてどん な話をしている場面な のか話し合う。	図工 わ「ねんどと なかよし」 ・粘土をまるめたり、のぼ したりしながら、作りたい ものを思いつく。(造形)	わ・学校探検(2年生と) ・わかったことを話そう ・振り返りをしよう 「がっこうたんけんて みつけたものをかこう」 (生1/3・図1/3)	チ「なかまづくりと かず」 ・おなじ かずの なかまを さがそう。 (1～5の数について、 具体物、半具体物、数 字などを関連付ける。)
学	チ「きゅうしよくの じゅんびをしよう」	学 学 学 学 学 チ「きゅうしよくの じゅんびをしよう」	学 学 学 学 学 チ「きゅうしよくの じゅんびをしよう」	学 学 学 学 学 チ「きゅうしよくの じゅんびをしよう」	学 学 学 学 学 チ「きゅうしよくの じゅんびをしよう」
給食・ 休み・ 清掃	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校
5					
放課後					

P 69
事例参照

第 3 週目の留意事項

- ◎入門期の配慮事項
 - 今週から、全校実施の「朝の時間」の活動を行っていく。(児童の実態により時期を遅らせるなど配慮する。)
 - 朝の準備を短時間で済ませられるよう、時間の掛かる児童には、個別に(無理のない程度に)指導していく。
 - 学年合同で行ってきた活動を学級単位にするなど、学年で協議しながら徐々に移行していく。
 - 「がっこう たんけん」の活動・体験を表現する場を設けたり、教科学習の内容や人との関わりに広げたりしていく。
 - ・様々な表現方法を認め、次の意欲につながるようにする。また、様々な人、場所、物との出会いが、小学校生活へのさらなる期待につながるようにする。
 - 12日目の「交通安全教室」は、生活科「つうがくろの あんぜん」の内容と合致するので、関連して学習させる。
 - 今週から、給食後、「整理整頓」する活動から雑巾を使った「清掃」の活動に移行する。教師が共に活動する中で、雑巾のかけ方や絞り方、干し方など、丁寧に指導していく。
- ◆家庭との連携
 - 今週の児童の成長の様子や課題など(家庭に依頼すること)を学級(学年)便り等で伝える。
 - ・健康診断関係、持ち物について再確認する。
 - (例)〈毎日持ってくる10点セット〉・連絡帳・連絡袋・筆箱・下敷き・自由帳・ハンカチ・ちり紙・校帽・ランドセル・防犯ブザー
〈月金バック:金曜日に持ち帰り月曜日に持ってくる物〉・体育着・上履き・歯磨きセット・白衣(当番のみ)

教科	実施	累計
国語	4	14
算数	1 1/3 4	1/3
生活	3 1/3 9	1/3
音楽	0	4
図工	2 1/3	3
体育	1	2
道徳	1	2
学活	3 1/3	12
小計	16 1/3	50 2/3
行事	2 1/3	7
な	1 1/3	3 1/3
外国語	0	0
総計	20	61

主なめあて がっこう だいすき ともだち だいすき

	17 日目 (4/27)	18 日目 (4/28)	日 目 (4/29)	19 日目 (4/30)	20 日目 (5/1)	
	月	火	水	木	金	
行事等	家庭訪問	家庭訪問	昭和の日	家庭訪問	家庭訪問	
朝の時間	全校朝会	学習タイム		児童集会	音楽集会	
1	なかよしタイム ○先生の話・健康観察(学活 1/4) ○歌・手遊び・リズム遊び、読み聞かせ他(な 1/4)			なかよしタイム ○先生の話・健康観察(学活 1/4) ○歌・手遊び・リズム遊び、読み聞かせ他(な 1/4)		
	国	チ「うたにあわせて あいうえお」 ・口形に気を付けて いろいろな音読	国	チ「うたにあわせて あいうえお」 ・口形に気を付けて いろいろな音読	チ「うたにあわせて あいうえお」 ・言葉を作り、ノートに書く。	
2	道徳	わ「みなちゃんの ふてばこ」 ・ものをたいてつにしよう (節度・節制)	算数	チ「なかまづくりと かず」 ・5は いくつと いくつ	算数	チ「なかまづくりと かず」 ・おなじ かずの なかまを さがそう (6~10の数について、具体物、半具体物、数図、数字、数詞を関連付ける。)
	音楽	な→チ 「うたって おどって なかよく なるう」 ・うたって なかよし ・セブン ステップス	体育	わ→チ 「こていしせつをつかった遊び」 ・登り棒 ・うんてい (3日目、2校時より)	音楽	な→チ 「うたって おどって なかよく なるう」 ・チェツ チェツ コリ ・ひらいた ひらいた
4	図工	チ「すきなもののいっぱい」 ・すきなものをたたくさんかご。(絵)	算数	チ「なかまづくりと かず」 ・おなじ かずの なかまを さがそう (6~10の数詞との数字の対応を知り、6~10の数字の書き方を理解する。)	生活・図工	チ「きれいにさいてね」 ・いろいろなたねを かんさつしよう ・アサガオのたねを かんさつカードにかごう
	国語	チ「きゅうしよくのじゅんびをしよう」	国語	な→チ 「ききたいな、ともだちのはなし」 ・好きな遊びを聞いて、分かったことや感想を全体に話す。		
給食・清掃	給食 ○清掃 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	給食 ○清掃 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校			給食 ○清掃 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	
5						
放課後						

第 4 週目の留意事項

◎連休中の生活について指導
 ○「なかよしタイム」は、4月中の実施として例示したが、児童の様子により柔軟に設定して実施する。
 今週のように週末が5月に入る場合、(または、4月末から5月上旬にかけての連休中、場合によっては連休明けも)、児童の生活や学習への意欲・集中の様子を把握し、適宜、取り入れていくなど、柔軟に考えたい。
 ○「学校探検」の活動・体験から、教科学習に広げる活動をする。
 ・13日目2校時「がっこうせいかつすたあと」(生活科)で発見した遊具を18日目3校時の「こていしせつをつかった遊び」(体育)で実際に使う学習活動。(楽しさ、使い方、安全)
 ○17日目4校時後半の学活「きゅうしよくのじゅんびをしよう」は、週の初めのみ設定し、一週間を見通した給食準備の指導をすることで、火曜日以降は、4校時に組み込まないようにしていく。

◆家庭との連携
 ○連休明けに登校渋りの児童が出やすい。連休中の過ごし方や課題、留意してほしいことなどを、学年(学級)便りをお願いしたり、個別に連絡を取り合う。
 ○次週以降必要な、学習用具等の準備についての依頼を早めに連絡しておく。(例:植物栽培用ペットボトル、水筒など)

教科	実施	累計
国語	4	18
算数	4	8 1/3
生活	2/3	10
音楽	2	6
図工	1	4
体育	1	3
道徳	1	3
学活	1 1/3	13 1/3
小計	15	65 2/3
行事	0	7
な	1	4 1/3
外国語	0	0
総計	16	77

運動会を5月に実施する場合の第5週～第8週(P75～78)

第 5 週(21日目～22日目) 運動会実施版

主なめあて	がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき
-------	-----------------------------------

	日 目 (5/4)	日 目 (5/5)	日 目 (5/6)	21 日 目 (5/7)	22 日 目 (5/8)	
	月	火	水	木	金	
行事等	みどりの日	こどもの日	振替休日		消防写生会	
朝の時間				全校朝会	「よむよむタイム」(読書)	
1				なかよしタイム ○先生の話・健康観察 ○歌・手遊びなど(な1/2)		
				チ「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね (書写) 国	チ「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね (書写) 国	
2				わ「きれいにさいてね」 ・あさがおのたねをまこう 生 活	「消防写生会」 ・消防自動車の絵をかこう(絵画) 行 事	
中休み						
3				チ「表現リズム遊び」 ・リズム遊び (体育館) 体 育	わ「消防写生会」 ・消防自動車の絵をかこう(絵画) 図 工	
4				チ→な 「なんぼんめ」 ・まえから なんにん ・まえから なんぼんめ (ゲーム) 算 数	チ「たのしいな、ことばあそび」 ・2文字、3文字、4文字の語を作る。 国 語	
				チ「きゆうしよくのじゅんぴをしよう」 学		
給食・清掃 昼休み				○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	
5				チ「ききたいな、ともだちのはなし」 ・好きな遊びを聞いて、分かったことや感想を全体に話す。 国 語	わ→チ「なんぼんめ」 ・うしろから なんぼんめ ・いろいろな なんぼんめ 算 数	
昇降 後 会				○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	

第 5 週目の留意事項

- ◎連休明けの生活について指導
 ○登校渋りなどの様子が現れる児童もいる時期である。連休明けの児童の様子をよく観察し、生活リズムの乱れを調整できるようにする。
 ○学校に来るのが楽しくなるような無理のない学習内容にする。実態に応じて、短時間で適宜「なかよしタイム」を組み込んだり、「わくわくタイム」で興味関心や意欲の高まる展開を工夫する。
 ○運動会に向けての学年体育を開始する。幼児教育で楽しんだ表現運動等との円滑な接続を意識して指導する。(運動会への期待や楽しみを感じさせる。そのための心構えや学年全員で練習するときの約束、めあてなどをもち、楽しく約束を守って練習できるよう指導を行う。)
 ○運動会の練習と関連付けて、算数の「なんぼんめ」の単元を先に扱う。
 ○生活科は、校庭探検などで春の動植物などを観たり遊んだりする経験と並行して、「きれいに さいてね」の単元で、アサガオなどの植物の種まきや世話が始まる。枯らさないよう、毎朝、教師が鉢を覗いて個に応じた指導をしていく。
 ○連休明けのため、週の初めは、4校時後半に「きゆうしよくのじゅんぴをしよう」を設定し、給食準備にゆとりをもつ。
- ◆家庭との連携
 ○連休明けの体調管理に配慮するよう依頼する。(食事、十分な睡眠・休養)
 ○学校へ持って行く持ち物などについて、再確認を依頼する。(毎日持ってくる10点セット、月金バック)
 ○心身の健康・安全面で心配なことなどがあれば、担任と十分連携するよう依頼する。

教科	実施	累計
国語	3	21
算数	1 2/3	10
生活	1	11
音楽	0	6
図工	1	5
体育	1	4
道徳	0	3
学活	1/3	13 2/3
小計	8	73 2/3
行事	1	8
な	1	5 1/3
外国語	0	0
総計	10	87

主なめあて **がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき**

	23 日目 (5/11)	24 日目 (5/12)	25 日目 (5/13)	26 日目 (5/14)	27 日目 (5/15)	
	月	火	水	木	金	
行事等	運動会特別時程開始		校内研究会	避難訓練		
朝の時間	全校朝会	学習タイム	読書タイム	音楽集会	体育朝会	
1	国語 チ「おはなし たのしいな」 チ「たのしいな、ことばあそび」 ・2文字、3文字、4文字の語を作る。	国語 チ「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね (書写) チ「たのしいな、ことばあそび」 ・2文字、3文字、4文字の語を作る。	国語 な→チ「はなの みち」 ・範読を聞いて、内容の大体を知る。 チ「かき と かぎ」 ・濁音、半濁音 ・文末に句点をつける。	国語 な→チ「はなの みち」 ・教師の後について全文を音読する。 チ「かき と かぎ」 ・濁音、半濁音 ・文末に句点をつける。	外国語 わ「Hello Song」 ・My name is 英語でじゃんけん	
2	道徳 チ「いのちが いっぱい」 ・(生命の尊さ)	算数 な→チ「ななまづりと かず」 ・かずあてゲーム ・7は いくつと いくつ	体育 チ「運動会練習」 ・リズム遊び (体育館)	生活 わ「がっこうの あんぜん」 ・防災設備を知る。 ・避難の仕方を知る。 行 避難訓練	国語 な→チ「はなの みち」 ・場面の様子やくまさんの行動について考える。	
中休み						
3	体育 チ「運動会練習」 ・集合するときのきまり ・リズム遊び (体育館)	体育 チ「運動会練習」 ・リズム遊び (体育館)	生活 わ「がっこう だいすき」 ・〇、〇階をたんけんしよう	体育 チ「運動会練習」 ・リズム遊び (体育館)	生活 わ「がっこう だいすき」 ・こうていをたんけんしよう ・はるを みつけにいこう	
4	算数 わ→チ「なんばんめ」 ・いろいろな なんばんめ	国語 な→チ「はなの みち」 ・挿絵を手がかりに、イメージを膨らませる。	生活 わ「がっこう だいすき」 ・〇、〇階をたんけんしよう	算数 な→チ「ななまづりと かず」 ・かずあてゲーム ・8は いくつと いくつ	国語 チ「かき と かぎ」 ・濁音、半濁音 ・唱歌を暗唱し、まとめをする。	
給食・清掃 昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	
5	図工 チ ○消防自動車の絵をしあげよう (絵画)	学活 わ→チ「くらすの かかりをきめよう」 ・どんなしごとがあるかな		音楽 な→わ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ「ド」	算数 な→チ「ななまづりと かず」 ・かずあてゲーム ・9は いくつと いくつ	
放課後 の会	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校			○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	

第 **6** 週目の留意事項

◎運動会特別時程が始まる週の配慮事項
 ◎運動会に対するイメージづくりをする。期待や楽しみ、そのために頑張る目当てや意欲を喚起させる指導をしていく。
 ・学年での運動会練習が本格的にスタートするので、全体で集まるときの約束などをきちんと確認する。
 ◎今年度の縦割り班がスムーズに不安なくスタートできるよう各クラスで指導する。
 ◎地震のときの初期避難の方法や避難の仕方について指導する。
 ◎「がっこう たんけん」から、教科学習へ広げたり、校庭や校外の自然や人に目を向けたりできるよう、工夫していく。

◆家庭との連携

◎運動会について、学年便りであらかじめ知らせておく。(ねらいや内容。健康管理や子供たちへの家庭での指導、家庭で準備してもらうことなど、学校側からお願いしたいこと。)
 ◎学校であったことを、児童が家庭で話したり、家族が聞いたりする時間的なゆとりをもってもらえるようにする。
 例：地震の避難訓練はどうだったか、園でやっていたのとどこが違っていたか、どんな避難の仕方をしたのかななど。
 今日の出来事や、楽しかったこと、思ったことなどを話し合える習慣が自然とできるとよい。

教科	実施	累計
国語	7	28
算数	4	14
生活	3 2/3	14 2/3
音楽	1	7
図工	1	6
体育	4	8
道徳	1	4
学活	1	14 2/3
小計	22 2/3	96 1/3
行事	1/3	8 1/3
な	0	5 1/3
外国語	1	1
総計	24	111

第 7 週(28日目～32日目) 運動会実施版

主なめあて	がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき
-------	-----------------------------

	28 日目 (5/18)	29 日目 (5/19)	30 日目 (5/20)	31 日目 (5/21)	32 日目 (5/22)
	月	火	水	木	金
行事等					
朝の時間	全校朝会	学習タイム	読書タイム	たてわりはん集会	体育朝会
1	国語 な「こんなもの みつけたよ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね (書写)	国語 な「こんなもの みつけたよ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) 「ぶんをつくろう」	国語 な「こんなもの みつけたよ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) 「ぶんをつくろう」	体育 テ「運動会練習」 ・全校練習 ・入場行進 ・開会式	国語 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) 「ぶんをつくろう」
2	体育 テ「運動会練習」 ・リズム遊び (校庭)	算数 テ「なかまづくりと かず」 ・おおきさをくらべよう ・1～10の数について、大小を比較し、系列を理解する。	生活・国語 テ「がっこうだいすき」 ○みつけたことをつたえあおう ・グループで練習する。	体育 テ「運動会練習」 ・全校練習 ・自席への退場 ・応援合戦	国語 テ「はなの みち」 ・グループで読もう ・グループ発表会をしよう
中休み					
3	道徳 テ「あなたなら どうする」 (善悪の判断)	体育 テ「運動会練習」 ・リズム遊び (体育館)	体育 テ「運動会練習」 ・リズム遊び (校庭)	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ「ド・レ・ミ」	体育 テ「運動会練習」 ・かけっこ ・団体競技
4	算数 な→テ「なかまづくりと かず」 ・かずあてゲーム ・10は いくつと いくつ	国語 な→テ「はなの みち」 ・場面の様子やくまさんの行動について考える。	図工 テ「みて、みて、いっぱい つくったよ」 ・粘土にチャレンジ (立体)	算数 な→テ「なかまづくりと かず」 ・0という かず ・輪投げの結果を見て、0という数について知る。 ・かずあてゲーム	国語 テ「としよかんへ いこう」 ・読書・読み聞かせ (図書室利用)
給食・清掃	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み
5	生活 わ「きれいに さいてね」 ・めを よく みよう ・かんざつカードにかこう (ふたば)	生活・図工 わ「がっこうだいすき」 ○みつけたことをつたえよう ・みつけたものやおきにいりを かこう	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ「ド・レ」	国語 テ「はなの みち」 ・場面の様子やくまさんの行動について考える。	算数 テ「なんぼんめ」 ・どのようにかわるかな ・数の構成の関数的な考察
放課後の会	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校

第 7 週目の留意事項

◎運動会特別時程の週の配慮事項
 ◎教室での学習と、体育館や校庭での運動会の練習のバランスを十分考慮し、必要以上に児童の心身を疲れさせないようにする。
 ◎健康・安全に留意し、意欲的に運動会の練習ができるよう、認め励ましながら指導していく。
 ・かなり気温が上がる時期でもある。水分補給や汗ふきなど、児童の体調に留意し、適宜指導する。
 ・水筒の水を飲むときのルールを始め、運動会練習時に必要な決まりを確認し、守らせていく。
 ・初めての全校練習がスムーズにできるよう、事前に流れを指導し児童の不安を無くす。
 ◎学校探検と並行して、毎日の植物の観察や世話を怠らないよう、教師も毎日、朝や掃りの会などで話題にする。「生き物」を育てること、それを継続することから、「命」の大切さを実感させていく。

◆家庭との連携
 ◎かなり暑くなる日もあるため、汗拭きタオルをもたせて運動後はしっかりと汗を拭かせる。
 ◎夏の間の水筒持参の時期がスタートするため、教室で水筒を飲むときの決まりをしっかりと確認する。
 ◎児童の能力を考慮しながら無理のない表現の動きを工夫する。

教科	実施	累計
国語	8 1/2	36 1/2
算数	4	18
生活	2	16 2/3
音楽	2	9
図工	1 1/2	7 1/2
体育	6	14
道徳	1	5
学活	0	14 2/3
小計	25	121 1/3
行事	0	8 1/3
な	0	5 1/3
外国語	0	1
総計	25	136

主なめあて がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき

	33 日目 (5/25)	34 日目 (5/26)	35 日目 (5/27)	36 日目 (5/28)	37 日目 (5/29)	38 日目 (5/30)
	月	火	水	木	金	土
行事等			P 105 事例参照		運動会前日準備	運動会
朝の時間	全校朝会	学習タイム	読書タイム	全校集会	読書タイム	
1	国語 な→チ「ねこと ねっこ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) テ「ぶんをつくろう」	体育 な→チ「運動会練習」 全校練習 ・閉会式 ・全校ダンス ・全校競技	国語 な→チ「ねこと ねっこ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) テ「ぶんをつくろう」	国語 な→チ「ねこと ねっこ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) テ「ぶんをつくろう」	体育 テ「運動会リハーサル」	行事 運動会
2	体育 テ「運動会練習」 ・リズム遊び ・団体競技 (校庭)	国語 テ「ぶんをつくろう」	体育 テ「運動会練習」 ・リズム遊び ・団体競技 (校庭)	算数 テ「なんぼんめ」 ・かずを さがそう ・10までの数の物を探し、 数の理解を深める。	国語 テ「としょかんへ いこう」 ・読書・読み聞かせ (図書室利用)	行事 運動会
中休み						
3	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ (ド・レ・ミ・ファ)	体育 テ「運動会練習」 ・リズム遊び かけっこならび	図工 な→わ 「チョッキン パッドをかざろ う」 ・紙の切り方 ・紙の折り方 ・のりの使い方・はり方 (工作)	体育 テ「運動会練習」 ・リズム遊び かけっこ 団体競技	道徳 テ「えがおに になれるね」 ・みんなのために (勤労・公共の精神)	行事 運動会
4	算数 テ「なんぼんめ」 ・しあげよう ・10までの数の合 成、分解の習熟	国語 な→チ「ねこと ねっこ」 ・濁音、半濁音のある言葉 と助詞「は」を使って、簡単 な文を書く。	図工 わ「チョッキン パッドをかざ ろう」 ・かみの切り方 ・かみの折り方 ・のりの使い方・はり方 (工作)	学活 わ→チ 「運動会がんばろう！」 ・当日の流れや約束	算数 わ→チ ・学習のまとめ、テスト 学 「うんどうかい たのしみ」 活 ・運動会への期待など	行事 運動会
給食・清掃	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	
5	生活 わ「がっこう だいすき」 ○みつけたこと をつたえあおう ・みつけたことや、おきに いりを発表し合う。	生活 テ「きれいに さいてね」 ・まいにちのせわをしよう ・かんさつカードにかこう (本葉)	算数 テ「なんぼんめ」 ・かずを さがそう ・10までの数の物を探し、 数の理解を深める。	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ (ド・レ・ミ・ファ)		行事 運動会
放課後	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校	○掃りの支度 ○掃りの会 ○班ごとに並び集団下校		

第 8 週目の留意事項

◎運動会練習仕上げの時期の配慮事項
 ○運動会直前の児童の体調に十分留意する。できるだけ当日全員が元気に参加できるよう、無理ない計画を立てる。
 ○保護者も初めての運動会が不安なく迎えられるよう、当日の細かい連絡を学年便りを活用して伝える。
 ○1年生の担当する運動会「はじめの言葉」などを余裕をもって練習できるようにする。
 ○生活科「きれいに さいてね」での学習は、引き続き、生活科の授業がない日も、観察と世話を怠らないよう毎日の話題にし、個別指導をする。

◆家庭との連携
 ○保護者にとっても、初めての運動会が不安なく迎えられるよう、学年便りを活用して伝える。
 ・児童の心身の健康に十分配慮するよう依頼する。(食事・睡眠・休養。楽しく登校できるよう認め励ます等。)
 ・毎日持参する水筒の衛生管理、体育着や帽子の清潔、汗ふきの用意など。
 ・余裕を持った日程で「学年便り」を配布し、運動会当日の細かい連絡を伝え、分からない点等があれば応えられるようにする。

教科	実施	累計
国語	6	42 1/2
算数	3 2/3	21 2/3
生活	2	18 2/3
音楽	2	11
図工	2	9 1/2
体育	6	20
道徳	1	6
学活	1 1/3	16
小計	24	145 1/3
行事	5	13 1/3
な	0	5 1/3
外国語	0	1
総計	29	165

運動会を5月に実施しない場合の第5週～第8週(P79～82)

第 5 週(21日目～22日目) 運動会未実施版

主なめあて	がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき
-------	-----------------------------

	日 目 (5/4)	日 目 (5/5)	日 目 (5/6)	21 日 目 (5/7)	22 日 目 (5/8)	
	月	火	水	木	金	
行事等	みどりの日	こどもの日	振替休日		消防写生会	
朝の時間						
1				なかよしタイム ○先生の話・健康観察 ○歌・手遊びなど(な1/2)		
				国 子「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね (書写)	国 子「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね (書写)	
2				体 育 わ「スポーツテストの 練習をしよう」 ・ならび方の練習をしよう ・短距離走を走ってみよう	行 事 わ「消防写生会」 ・消防自動車の絵を描こう (消防署)	
中休み						
3				生 活 わ 「きれいにさいてね」 ・あさがおのたねをまこう	図 工 子「消防写生会」 ・消防自動車の絵を描こう (消防署)	
4				算 数 子→な 「なんぼんめ」 ・まえから なんにん ・まえから なんぼんめ (ゲーム)	国 語 子「たのしいな、ことばあそび」 ・2文字、3文字、4文字の語を作る。	
給食・み清掃				○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	
5				国 語 子「ききたいな、ともだちのはなし」 ・好きな遊びを聞いて、分かったことや感想を全体に話す。	算 数 わ→子 「なんぼんめ」 ・うしろから なんぼんめ ・いろいろな なんぼんめ	
帰りの会				○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	

第 5 週目の留意事項

◎連休明けの生活について指導
 ○連休中の児童の実態を考慮しながら学習を進める。
 ○体調面に配慮する。
 ○なかよしタイムなどで、休日の出来事を話し合いながら、「学校ってやっぱり楽しいな」と思えるようなゲーム、読み聞かせなどを取り入れていく。
 ○消防写生会では、校外で行う場合は事前に交通安全指導を行い、安全に行くことができるよう留意する。
 ○生活科は、校庭探検などで春の動植物などを観たり遊んだりする経験と並行して、「きれいに さいてね」の単元で、アサガオなどの植物の種まきや世話が始まる。枯らさないよう、毎朝、教師が鉢を覗いて個に応じた指導をしていく。
 ○連休明けのため、週の初めは、4校時後半に「きゅうしよくのじゅんびをしよう」を設定し、給食準備にゆとりをもつ。

◆家庭との連携
 ○連休明けの体調管理に配慮するよう依頼する。(食事、十分な睡眠・休養)
 ○学校へ持って行く持ち物などについて、再確認を依頼する。(毎日持つてくる10点セット、月金バック)
 ○心身の健康・安全面で心配なことなどがあれば、担任と十分連携するよう依頼する。

教科	実施	累計
国語	3	21
算数	1 2/3	10
生活	1	11
音楽	0	6
図工	1	5
体育	1	4
道徳	0	3
学活	1/3	13 2/3
小計	8	73 2/3
行事	1	8
な	1	5 1/3
外国語	0	0
総計	10	87

主なめあて	がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき
-------	-----------------------------

	23 日目 (5/11)	24 日目 (5/12)	25 日目 (5/13)	26 日目 (5/14)	27 日目 (5/15)	
	月	火	水	木	金	
行事等				避難訓練	なかよしオリエンテーリング	
朝の時間	のんびり	のんびり	のんびり	のんびり	のんびり	
1	国語 テ「おはなし たのしいな」 テ「たのしいな、ことばあそび」 ・2文字、3文字、4文字の語を作る。	国語 テ「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね(書写) テ「たのしいな、ことばあそび」 ・2文字、3文字、4文字の語を作る。	国語 な→テ「はなの みち」 ・範読を聞いて、内容の大体を知る。 テ「かきと かぎ」 ・濁音、半濁音 ・文末に句点をつける。	国語 な→テ「はなの みち」 ・教師の後について全文を音読する。 テ「かきと かぎ」 ・濁音、半濁音 ・文末に句点をつける。	行事 「なかよしオリエンテーリング」	
2	道徳 テ「いのちが いっぱい」(生命の尊さ)	算数 な→テ「なかまづりと かず」 ・かずあてゲーム ・7は いくつと いくつ	体育 テ「スポーツテストの練習をしよう」	生活 わ「がっこうの あんぜん」 ・防災設備を知る。 ・避難の仕方を知る。 行 避難訓練	行事 「なかよしオリエンテーリング」	
中休み						
3	音楽 な→わ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ「ド」	体育 テ「スポーツテストの練習をしよう」	生活 わ「がっこう だいすき」 ・〇、〇階をたんけんしよう	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ「ドレ」	行事 「なかよしオリエンテーリング」	
4	算数 わ→テ「なんぼんめ」 ・いろいろな なんぼんめ	国語 な→テ「はなの みち」 ・挿絵を手がかりに、イメージを膨らませる。	生活 わ「がっこう だいすき」 ・〇、〇階をたんけんしよう	算数 な→テ「なかまづりと かず」 ・かずあてゲーム ・8は いくつと いくつ	行事 「なかよしオリエンテーリング」	
給食・清掃 昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	
5	図工 テ ○消防自動車の絵をしあげよう(絵画)	学活 わ→テ「くらすのかかりをきめよう」 ・どんなしごとがあるかな	(研究授業)	国語 テ「かきと かぎ」 ・濁音、半濁音 ・唱歌を暗唱し、まとめをする。	行事 「なかよしオリエンテーリング」	
放課後		○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校		○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	

第 **6** 週目の留意事項

◎学校に慣れてきたころの配慮事項
 ○週末の全校遠足に向けて体調を整えさせるよう指導するとともに、保護者にもお便り等で呼び掛ける。
 ○だいぶ慣れてきた給食準備などで、声を掛けることをだんだんと少なくし、できている点を大いに認めながら、自ら考えて動くよう促す。
 ○休み時間にどのように遊んでいるか把握する。
 ○地震のときの初期避難の方法や避難の仕方について指導する。
 ○「がっこう たんけん」から、教科学習へ広げたり、校庭や校外の自然や人に目を向けたりできるよう、工夫する。

◆家庭との連携
 ○学校であったことを、児童が家庭で話したり、家族が聞いたりする時間的なゆとりをもってもらえるようにする。
 例:地震の避難訓練はどうだったか、園でやっていたのとどこが違っていったか、どんな避難の仕方をしたのかなど。
 今日の出来事や、楽しかったこと、思ったことなどを話し合える習慣が自然とできるとよい。

教科	実施	累計
国語	6	27
算数	3	13
生活	2 2/3	13 2/3
音楽	2	8
図工	1	6
体育	2	6
道徳	1	4
学活	1	14 2/3
小計	18 2/3	92 1/3
行事	5 1/3	13 1/3
な	0	5 1/3
外国語	0	0
総計	24	111

主なめあて	がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき
-------	-----------------------------

	28 日目 (5/18)	29 日目 (5/19)	30 日目 (5/20)	31 日目 (5/21)	32 日目 (5/22)	33 日目 (5/23)
	月	火	水	木	金	土
行事等						
朝の時間						
1	国語 な「こんなもの みつけたよ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・とめ、はらい、はね (書写)	国語 な「こんなもの みつけたよ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) 「ぶんをつくろう」	国語 な「こんなもの みつけたよ」 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) 「ぶんをつくろう」	国語 テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) 「ぶんをつくろう」	国語 な ・読書、読み聞かせ テ「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) テ「ぶんをつくろう」	国語 テ「はなの みち」 ・グループで読もう ・グループ発表会をしよう
2	道徳 テ「あなたなら どうする」 (善悪の判断)	算数 な→テ「なまづりと かず」 ・かずあてゲーム ・10は いくつと いくつ	体育 わ「スポーツテストの 練習をしよう」	算数 テ「なまづりと かず」 ・おおきを くらべよう ・1～10の数について、 大小を比較し、系列を 理解する。	国語 テ「はなの みち」 ・場面の様子やくまさんの 行動について考える。	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ (ド・レ・ミ・ファ)
中休み						
3	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ 「ド・レ・ミ」	体育 わ「スポーツテストの 練習をしよう」 な 「体のバランスをとる 運動遊び」	図工 テ 「みて、みて、いっぱい つくったよ」 ・粘土にチャレンジ (立体)	音楽 テ「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ (ド・レ・ミ・ファ)	体育 わ「スポーツテストの 練習をしよう」 な 「体のバランスをとる 運動遊び」	算数 テ「なんばんめ」 ・しあげよう ・10までの数の合成、分解 の習熟
4	算数 な→テ「なまづりと かず」 ・かずあてゲーム ・9は いくつと いくつ	国語 な→テ「はなの みち」 ・場面の様子やくまさんの 行動について考える。	図工 テ「みて、みて、いっぱい つくったよ」 ・粘土にチャレンジ (立体)	生活・国語 テ「がっこう だいすき」 ○みつけたことを つたえ あおう ・グループで練習する。	国語 テ「としよかんへ いこう」 ・読書・読み聞かせ (図書室利用)	
給食・ 掃除・ 休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	
5	生活 わ「きれいにさいてね」 ・めを よく みよう ・かんさつカードにかこう (ふたば)	生活・図工 わ「がっこう だいすき」 ○みつけたことをつたえよ う ・みつけたものや おきにいりを かこう	国語 な→テ「はなの みち」 ・場面の様子やくまさんの 行動について考える。	体育 テ「スポーツテストの 練習をしよう」 な「体のバランスをとる 運動遊び」	算数 な→テ「なまづりと かず」 ・0というかず ・輪投げの結果を見て、 0という数について知る。 ・かずあてゲーム	
放課後 の会	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	

◎学校に慣れてきたころの配慮事項

○少し暑くなってきた気候で、児童たちが疲れ気味になるので体調面に配慮したい。手洗い・うがいなどの励行を行う。
 ・気持ちも疲れてくるころなので、楽しい気持ちになるようなゲームなどの活動や読み聞かせも積極的に取り入れたい。
 ○学校探検と並行して、毎日の植物の観察や世話を怠らないよう、教師も毎日、朝や帰りの会などで話題にする。「生き物」を育てること、それを継続するということから、「命」の大切さを実感させる。

◆家庭との連携

○かなり暑くなる日もあるため、汗拭きタオルをもたせて運動後はしっかりと汗を拭かせる。
 ○夏の水筒持参の時期がスタートするため、教室で水筒を飲むときの決まりをしっかりと確認する。
 ○児童の能力を考慮しながら無理のない表現の動きを工夫する。

教科	実施	累計
国語	10 1/2	37 1/2
算数	5	18
生活	2	15 2/3
音楽	3	11
図工	2 1/2	8 1/2
体育	4	10
道徳	1	5
学活	0	14 2/3
小計	28	120 1/3
行事	0	13 1/3
な	0	5 1/3
外国語	0	0
総計	28	139

主なめあて がっこうだいすき ともだちだいすき べんきょうだいすき

	34 日目 (5/25)	35 日目 (5/26)	36 日目 (5/27)	37 日目 (5/28)	38 日目 (5/29)
	月	火	水	木	金
行事等	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">P 105 事例参照</div>				
朝の時間					
1	な ・読書、読み聞かせ 国 「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) な→チ 「ねこと ねっこ」	な→チ 「ねこと ねっこ」 国 「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) チ 「ぶんを つくろう」	な→チ 「ねこと ねっこ」 国 「ひらがなの かきかた」 ・まがり、おれ(書写) チ 「ぶんを つくろう」	チ 「としょかんへ いこう」 ・読書・読み聞かせ (図書室利用)	な 「ALTとなかよくなるう」 わ ・自己紹介をしよう
2	チ 「えがおに になれるね」 ・みんなのために (勤労・公共の精神)	わ→チ 「いくつと いくつ」 学習のまとめ・テスト 算数	な 10になるジャンケンゲーム チ 「あわせていくつ ふえる といくつ」 ・あわせる 算数	な 数あてゲーム チ 「なんぼんめ」 ・まえからな んにん 算数	な 読み聞かせ チ 「ぶんを つくろう」
中休み					
3	チ 「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ (ド・レ・ミ・ファ・ソ)	わ 「スポーツテストの 練習をしよう」 な 「体のバランスをとる 運動遊び」 体育	わ 「チョッキン パツでかざろう」 (工作) 図工	チ 「はくを かんじとろう」 ・リズムに乗って ・鍵盤ハーモニカ (ド・レ・ミ・ファ・ソ)	わ 「忍者修行をしよう」 ・体育館の固定施設などで運動遊びをしよう 体育
4	チ 「なんぼんめ」 ・かずを さがそう ・10までの数の物を探し、 数の理解を深める。 算数	チ 「ぶんを つくろう」 国語	わ 「チョッキン パツで かざろう」 (工作) ・紙の切り方 ・紙の折り方 ・のりの使い方 図工	な 読み聞かせ 「にんじゃ」 チ 「ぶんを つくろう」 国語	な→チ 「ねこと ねっこ」 ・濁音、半濁音のある言葉 と助詞「は」を使って、簡 単な文を書く。 国語
給食・休み・清掃	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○昼休み	○給食 ○清掃 ○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校
5	わ 「がっこう だいすき」 ○みつけたこと をつたえあおう ・みつけたことや、おきに いりを発表し合う。 生活	チ 「きれいにさいてね」 ・まいにちのせわをしよう ・かんさつカードにかこう (本業) 生活	わ 「がっこう だいすき」 ・体育館を探検しよう 生活	わ 「忍者修行をしよう」 ・体育館の固定施設な どで運動遊びをしよう 体育	な 「数カードゲーム」 チ 「あわせていくつ ふえるといくつ」 ・あわせる 算数
帰りの会	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校	○帰りの支度 ○帰りの会 ○班ごとに並び集団下校

◎学校に慣れてきたころの配慮事項
 ◎気温が上がり、蒸し暑い時期がくる。児童の健康状態をよく観察し、適切な指導や対策を講じる。
 ・水筒を持参してもよい時期になる。置き場所に配慮したい。(災害時、落下等の危険防止のため、カゴなどに入れてなるべく下の方に置く。)
 ◎帰りの会などで「今日のキラリ」として、友達のよい姿を紹介する時間をつくと、友達に目がいくようになる。
 ◎生活科「きれいに さいてね わたしの はな」での学習は、引き続き、生活科の授業がない日も、観察と世話を怠らないよう、毎日の話題にして個別指導する。

◆家庭との連携

◎毎日、清潔な汗ふきの用意をお願いしたり、水筒の中味や衛生に気を付けるなど、学年(学級)便りや、個別に連絡を取り合う。

教科	実施	累計
国語	8	45 1/2
算数	5	23
生活	3	18 2/3
音楽	2	13
図工	2	10 1/2
体育	3	13
道徳	1	6
学活	0	14 2/3
小計	24	144 1/3
行事	0	13 1/3
な	0	5 1/3
外国語	1	1
総計	25	164

第 **9** 週

第 **10** 週

主なめあて げんき いっぱい うんどう だいすき

※日数は以降運動会実施版とする(運動会未実施の場合は1日増)

	39 日目 (6/2)	41 日目 (6/4)	42 日目 (6/5)	43 日目 (6/8)	44 日目 (6/9)	46 日目 (6/11)
	火	木	金	月	火	木
行事等					スポーツテスト	スポーツテスト
朝の時間	学習タイム	全校集会	読書タイム	全校朝会	学習タイム	全校集会
1						
2				な→テ 学活 スポーツテスト練習 ・6年生とのペア作り ・いろいろなテスト練習		
中休み						
3	テ 体育 スポーツテスト練習 ・体育館種目の練習 ・上体おこし ・反復横とび ・長座体前屈		テ 体育 スポーツテスト練習 ・20mシャトルラン ・握力		テ 体育 スポーツテスト ・上体おこし ・反復横とび ・長座体前屈 ・握力	
4		テ 体育 スポーツテスト練習 ・ソフトボール投げ ・立ち幅跳び			テ 体育 スポーツテスト ・ソフトボール投げ ・立ち幅跳び	テ 体育 スポーツテスト ・20mシャトルラン ・記録の振返り
給食・清掃 休み						
5						
放課後の会						

9・10 週目の留意事項

◎清潔・安全に気を付け、体調を整える週間

○体育の時間がやや増える傾向にある時期である。朝の健康管理のほか、運動後や下校時に、児童の体調に異常やけがはないか、しっかり配慮をしていく。必要に応じて、学級活動で「自分の体の状態を知ったり、衛生や安全に気を付ける」内容の学びの時間を設定する。
また、養護教諭や学年でTTで指導を行う。

- ・6年生とペアを作り、種目ごとに6年生が記録を測定したりカードに記入する。
- ・欠席児童については個別に記録を測定して提出できるようにする。

◆家庭との連携

- ・運動の多い時期であることと、睡眠・休息や栄養に気を付けてほしい旨を学年(学級)便りで伝える。
- ・スポーツテストにおける質問紙調査は1年児童本人に書かせることが難しい。実施日に合わせて保護者に記入をお願いし、担任が児童調査票に記入する。

第 **11** 週

第 **12** 週

主なめあて げんき いっぱい うんどう だいすき

	48 日目 (6/15)	49 日目 (6/16)	50 日目 (6/17)	51 日目 (6/18)	53 日目 (6/22)	54 日目 (6/23)
	月	火	水	木	月	火
行事等			プール開き			
朝の時間	全校朝会	学習タイム	読書タイム	あ	全校朝会	学習タイム
1	チ 体育・学活 「水遊び」 ・水着の着方、脱ぎ方 ・シャワーの浴び方 ・水泳カードの使い方 ・持ち物の記名の確認		「プール開き」 行事・体育 ・着替え方 ・シャワーの浴び方 ・プールの持ち物の確認 ・プールサイドでの並び方 ・パディの確認の仕方 ・教室までの戻り方			
2						
中休み						
3	な 国語 フックトーク「およぐ」 ・本の読み聞かせ ・他の本の紹介 ・「水遊び」についての話や話し合い			チ 体育 「水遊び」 ・シャワーの浴び方 ・準備運動の仕方 ・プールの入り方 ・整理運動(低水位)		チ 体育 「水遊び」 ・着替え ・準備運動 ・シャワー ・水慣れ ・水の中でいろいろな歩き方をする ・整理運動 ・シャワー ・着替え
4					P 109 事例参照	
給食・休み・清掃						
5						
放課後						

第 **11・12** 週目の留意事項

- ◎清潔・安全に気を付け、体調を整える週間。
- 体育の時間が増える時期である。朝の健康観察のほか、運動後や下校時に児童の体調に異常やけがなどはないか、配慮や確認をしっかりとしていく。必要に応じて学級活動で「自分の体の状態を知ったり、衛生や安全に気を付ける」内容に関する学習の時間を設定する。その際には養護教諭や学年でTT体制で行ったりする。
- ・水泳に対するの恐怖心をなくし、意欲的に水泳に臨めるよう、ブックトークで「およぐ」をテーマに本を紹介する。
 - ・水着の着脱の際、巻くタオルを上手に使うことができるよう声をかけ、何度も練習させる。
 - ・パディの仕方、シャワーの浴び方、タオルのかけ方など学年で統一した方法を細かく指導する。
 - ・水泳は命の学習であることを指導し、ふざけたり、走ったりなど危険なことをしないよう あらかじめ話しておく。
 - ・プールがある日の午後、子供たちは疲れており集中も続かない。わくわくタイムを設定し、疲れている子供たちが体を休めつつも楽しめるような内容にする。
- ◆家庭との連携
- 水に入るだけでも体力を消耗する。家庭では早寝早起や栄養面に気を付けてもらうなど、十分配慮してもらえるように学年便りなどで伝える。
 - プールの持ち物には、記名忘れのないよう学年便り等で呼び掛ける。

第 **13** 第 **14** 第 **15** 週

主なめあて **たのしみだね なつやすみ**

62 日目 (7/3)		65 日目 (7/8)		70 日目 (7/15)		71 日目 (7/16)		72 日目 (7/17)		73 日目 (7/20)	
金		水		水		木		金		月	
行事等											
朝の時間											
1											
2											
中休み											
3											
4											
給食・休み・清掃											
5											
放課後											

P 113
事例参照

第 **13～15** 週目の留意事項

- ◎夏休みに向けての指導
- 夏休みのイメージを膨らませるために、ブックトーク「なつやすみ」で本を紹介する。
- あさがおの世話の振り返りをする。
- プール(水遊び)の振り返りを行い、夏休みのプールで自分の目標を立てられるようにする。
- 国語や生活科の時間で夏の風物詩(夏祭り、縁日、扇風機、虫捕り、かき氷、そうめん、すいか、風鈴など)について紹介し、夏ならではの物や遊び、行事への期待感を高める。
- 夏休み中の規則正しい生活への意識付けをする。
- 生活科で夏休みにしてみたいことや頑張りたいことを考えた後、家庭で保護者と一緒に夏休みのめあてや予定を考えてくる宿題を出す。
- 「暗くなる前に家に帰ること」や「家の人と留守番の約束をきめておくこと」など安全に生活するための約束を確認する。
- ◆家庭との連携
- 夏休みのめあてや予定などを家庭で話し合っておくように、事前に保護者に協力を依頼する。
- アサガオの世話の振り返りをするともに、最後の週に、保護者へあさがおを持ち帰ってもらうようお願いで知らせる。
- アサガオのたねやつるは生活科「たねとりをしよう」で2学期にたねの観察やリース作りに使うので、保管してもらうことを保護者へお便りで知らせる。また、夏休み明けには持ち帰ったあさがおの鉢を学校に持ってきてもらうことも知らせる。

第 **16** 週

第 **17** 週 **18** 週

主なめあて **あかるく げんきに 2がつき すたあと**

	74 日目 (9/1)	75 日目 (9/2)	76 日目 (9/3)	79 日目 (9/8)	83 日目 (9/14)	84 日目 (9/15)
曜	火	水	木	火	月	火
行事等						
朝の時間						
1						
2 学 活	チ 「2がつき すたあと」 ・夏休み明けにあたり、規則正しい生活について話し合う。 ・生活チェック表のチェックの仕方を知る。				わ→チ 「きれいに さいてね」 生活 ・たねを とうろ。 ・あさがおの実やたねのようすを かんさつカードにかこう。	チ 「きれいに さいてね」 生活 ・あさがおのかたづけをする。 ・あさがおの成長や世話のようすを振り返る。
中休み						
3		わ→チ 「ききたいな、 ともだちの はなし」 国語 ・夏休みの出来事を思い出して題材を決める。 ・知らせたいことの内容を考える。	チ 「ききたいな、 ともだちの はなし」 国語・生活 ・夏休みの経験を発表して聞き合う。	P 117 事例参照		チ 「きれいに さいてね」 生活 ・あさがおのつるで、リースづくりをする。
4				チ 学 活 「2がつき すたあと」 ・生活チェック表をもとに、夏休み明けの1週間の生活を振り返る。 ・2学期のスタートにあたりこれからの生活の仕方について話し合う。		
給食・ 昼休み・ 清掃						
5						
放課後 の会						

第 **16～18** 週目の留意事項

- ◎夏休み明けの指導
- 9月の初めは、スタートカリキュラムの趣旨を意図的に取り入れ、長期の休み明けも無理なくスタートできるように配慮する。
 - 2学期のスタートにあたり、規則正しい生活への意識付けをする。(生活チェック表)
 - 国語「ききたいな、ともだちの はなし」では、長期の休みならでの経験を児童から引き出すようにし、「出かけた場所の発表会」に終始しないように留意する。夏休み中のあさがおの世話や気づきなども大切に取り扱いたい。(生活科との関連)
 - あさがおの成長や世話をしてきたことの振り返りをする。(成長の様子、季節の変化、水やりなどを通して大切に育てたこと、など)
- ◆家庭との連携
- 生活チェック表の扱いや記入について、お便り等で保護者に協力を依頼する。
 - 夏休み中、各家庭で世話をしていたあさがおは、生活科で種の観察やリース作りに使うので、夏休み明けに学校に持ってきてもらうよう、夏休み前に保護者へお便り等で知らせる。
 - お便りで、保護者会の日時・内容の周知や参加への協力をお願いする。
※内容の例…夏季休業中の児童の様子、2学期の学校生活について(学習・行事など)、など